

合理的配慮に関する実態調査について実施概要（案）

1 目的

合理的配慮の好事例を収集し、市内飲食店に対し広く周知を行うことで、東京オリンピック・パラリンピックに向けた環境整備及び、誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例の理念の実現を目指し、併せて市内で飲食店を営む事業者が好事例を取り入れ、サービスや利用者満足度の向上に繋げてもらうことを目的とする。

2 調査の概要

(1) 予行調査

日 時：平成30年6月中旬

対 象：浦和駅周辺の飲食店のうち、調査に了承いただいた店舗

参加者：市職員のみ

(2) 実地調査（本調査）

日 時：平成30年7月下旬～12月頃（予定）

対 象：浦和駅周辺の飲食店

参加者：大学生や障害当事者のボランティア、市職員等



3 調査事項

- ・ 障害のある方も含め、子育て中の方や外国人など、様々な状況の方が利用しやすいように普段から心がけていること
- ・ 障害のある方への接客で喜ばれたこと
- ・ 障害のある方への接客で困ったことや知りたいこと 等

4 スケジュール案

平成30年度に好事例の収集を行い、平成31年度に事例集の作成を行う。

平成30年度						平成31年度
6月中旬	6月下旬	7月～12月	1月	2月	3月	4月～
	第3回委員会		第4回委員会			
予定調査	概要・ 予定調査 の報告	実地調査	調査結果 の報告			好事例集 作成